王子五丁目団地 自治会会報

第46号・1984年12月1日
公団王子五丁目団地自治会
東京都北区王子5丁目2番地
編集・自治会広報部
編集責任者・石渡　進
発行責任者・木元章喜
自治会連絡所（集会所No.1）
電話（913）6723
〔開設時間〕月～金　10時～16時

どうぞご参加を 冬の自治会行事

◇子どもクリスマス会

とき　12月22日（土）午後5時半
ところ　6号棟集会所
参加費　二百円（券の売り出しは12月10日から16日まで、自治会員のみ）
出演　「現代のかたりべ」川島保徳さん三たび登場（お母さんもご一緒に）

◇年わすれもちつき大会

とき　12月23日（日）午前11時
ところ　6号棟集会所前（会員世帯におもち無料サービス）
—楽しい企画を計画中です—

◇85自治会新年会

とき　84年1月6日（日）11時
ところ　レストランさんわ（会費千円）

◇ファミリースキー旅行

とき　84年2月10日～11日
ところ　新潟県北魚沼郡 権在堂スキー場

—いずれも、くわしくはポスターなどでお知らせします—

安心して住める団地めざして

全世帯で「家賃署名」を

家賃引き下げを要求 アンケートにもご協力を

私たちの団地の高い家賃を引き下げ、安心して住んでいられる団地にしよう—自治会はいま、ことしの「家賃署名」と「高家賃引き下げ・住宅の修繕をすすめるためのアンケート」活動を成功させるために全力をあげています。すべてのご家庭でこの署名・カンパ・アンケートにご協力くださるよう、心からよびかけます。

王子五丁目団地の家賃は、自治会の運動によって昭和五十三年七月に引き下げをさせ、現在二DKで二万円近く安くなっています。それでもまだ居住者の家賃負担率は、公団の基準を大幅に上回わっています。みんなが力をあわせて切実な願いの実現をめざしましょう。

テントをはっての屋外署名に大きな反響（11月18日）

署名用紙、アンケート用紙は封筒に入れて、全家庭にお届けしてあります。記入し、用紙を封筒に入れて指定の受け入れポストまでご持参ください。

この家賃署名運動は全国の公団団地自治会と一緒にとりくんでいます。家賃問題はじめ団地居住者のさまざまな要求実現のための活動資金カンパにもぜひご協力をお願いします。

居住者の生活圧迫 高い家賃負担率に悲鳴

私たちの団地では、家賃が居住者の家計に占める割合（負担率）が、公団の基準（15～16％）にくらべて大幅に上回わっている家庭が大変多く、みんな「何とかしてほしい」と切実に要求しています。自治会には次のような声が寄せられていますが、これは多くの家庭に共通した〝悲鳴〟ともいえるのです。

収入増えず食費節約

▽収入の三分の一以上が家賃で消えてしまい、家賃と公共料金を払うと食費だけで、まったく余裕がありません。

▽給与収入にくらべ家賃が異常に高く、とても公団住宅など言えたものではありません。現状では子供もつくれません。

▽高家賃は覚悟して入居したものの、給料が期待したようには上がらず、途方に暮れている始末です。このままでは団地から出ていかなければなりません。ここに長くいたいのに。

▽毎月、中頃になるとカラのさいふをながめてためいき。わが家は生か死かの状態です。

▽給料は上がらないのに税金、社会保険料がアップし、それに高家賃でまさに極限状態です。

▽家族全員が欲しいもの一つ買えずがまんの生活をしています。イライラ、ギスギス、ガタガタ、たおれそう。

▽待望の子供が生まれたのに喜びにひたる間もなく、高家賃に押しつぶされそうな毎日。いまさら行く所もありません。

永住の願い消えそう

▽この団地で永住をと考えてきた主婦。でも厚生年金とわずかなパート収入では、高家賃にささやかな希望も吹き飛ばされるのではと不安です。

▽定年退職後、雇用保険も切れてしまい、家賃を払いきれない状態に。一体どうすればよいのやら。

▽入居してすぐ、突然主人が事故で身障者となり、収入がなくなり貯金も底をついてきています。何としても家賃負担を軽くしてほしい。

▽妻が難病にかかり高家賃と二重の苦しみです。

▽母子家庭で収入がふえず、この高家賃ではとても永住できそうもありません。子供の教育費がたくさんかかり、食費を切りつめてやりくりしている状態です。

黙っていてはダメ

くり返す運動で着実な効果

公団住宅の「家賃問題」は居住者が黙っていたら、何の改善もされません。力を一つにして政府や公団にはたらきかけることによって、一歩一歩改善の道がひらけます。

「負担率は16％以内」

公団の責任者は国会で公団住宅の家賃負担率は入居者の収入の一五～六%が基準と言明しています。公共住宅としてはこれでも高すぎますが、この基準でみても王五団地の家賃は入居者の世帯収入が二DKで毎月約五十万円、年収五百九十万円以上あることを前提にしているわけで、現状と大きくかけ離れた家賃額であることがわかります。

もう一度引き下げを

私たちの運動で、王五団地の家賃は昭和五十三年七月に一度引き下げさせています。本来は昭和六十一年まで上がり続け、二DKで最終的に九万二千円くらいになるはずでした。それを昨年三月で止め、さらに毎月数千円引き下げ、月二万円近く安くすることに成功しています。

みんなの署名運動で昨年は全党一致の「国会要請」が決議され、その中に「高家賃引き下げ」や「家賃減額措置制度」が勧告されています。もう一度引き下げを実現するまで署名運動などをねばりづよく続けましょう。

灯油 五年連続で東京一安く

自治会の共同購入が大好評

一かん（18㍑）千二百六十円—自治会のことしの灯油の共同購入価格です。

自治会（福祉厚生部担当）は会員のくらしに少しでも役立つようにと、毎年、灯油の共同購入事業をしています。ここ数年、公団竹の塚第一団地自治会（足立区）と共同で、安藤株式会社とタイアップして「東京一安い価格」を実現し、会員に喜ばれてきました。

ことしの千二百六十円という価格も「東京一安い」価格で、これで五年連続の記録となっています。昨年は千二百七十円でしたので、ことしはさらに安くなりました。会員のみなさん、大いに利用して下さい。

〈共同購入の利用方法〉

▽チケットのお求めを…利用する場合はチケットが必要です。現金では扱いません。

▽チケット販売日……月～金曜日は午前10時～午後四時、土曜日は午後8時～9時、自治会事務所で販売（会員証を持参）。

▽灯油供給日……毎日曜日午前9時頃から、各号棟所定の場所で（くわしくは案内書をごらんください）。

▽自治会員のみ対象です。

喜ばれる『自治会共済』

水もれ被害に助け合い

「保険」ではありません

自治会はことし三月から、「水もれ・火災共済（自治会共済）」をスタートさせ、一定の効果を上げてきました。

これは自治会会員世帯が上階などのお宅から水もれ被害を受けたときや、火災にあったときに被害状況に応じて一定の見舞金や見舞品を支給する助け合い制度で、この九ヵ月間で約二十世帯に適用しています。

みなさんの中にこの制度を「保険」とかんちがいしている方がありますが、これは保険ではありません。勤労者の共済機関である全労災の火災共済に自治会で団体加入し、掛金は自治会一般会計から支出し、全会員に適用する助け合い制度です。自治会の財政規模から現状は掛け金の口数が少く、そのため支給される見舞金が少なくなるのが残念です。

未入会世帯がどしどし自治会に入会してくだされば、この制度をもっと充実できると思いますので、よろしくお願いします。

また、自治会は希望する会員世帯が全労災の火災共済や他の共済制度を利用できるよう、検討をすすめています。

水もれ被害はすぐ自治会へご連絡を。

集会所を大切に使おう

備品補充・室内修繕始まる

―自治会の要求実現で―

自治会は以前から、住宅・都市整備公団北営業所との交渉において、集会所の修繕や備品の補充を申し入れて来ましたが、このほど実現の運びとなりました。集会所は大勢の人が出入りし、団地生活に欠かせない場所です。我が家同様、大切に利用したいものです。

備品補充計画は五十九年度と六十年度にわたっており、左の表に示したのは今年度分のものです。この他にも台所用品や、掃除用具なども徐々に行なっていく予定です。

また、集会所の修繕（壁塗装等）については、利用状況をみながら（全面的に利用できなくならないよう）、傷みの激しい部屋から順事行なっていくことになります。

集会所を気持よく利用できるように、より一層のご協力をお願いします。

備品補充目録

品名	数量
机	20
いす	20
黒板	1
座卓（和室）	3
傘立	1
ポット	6
消火器	7
時計	1
カーテン（4・5号室）	40m
掃除機	1
座布団（和室）	15
スリッパ	140

放置自転車対策について

住宅環境部

自治会はかねてから住宅環境部を中心に急増する自転車対策を進めて来ました。自治会の調査でも一年間に約五百から六百台が放置されている現状では正規の自転車置場（一世帯一台分）では間に合わず、放置自転車の撤去が一番効果的な方法です。自治会は年三～四回一斉撤去を行なっていく方針をたて、九月に早速行ないました。この他に登録制（ワッペンをはる）などの方法も検討中です。（これは外部から来て乗り棄てるケースが相当多いため）

居住者のみなさんも不用自転車をむやみに棄てないようご協力下さい。

地下鉄七号線連絡協議会　運動具体化へ

地下鉄七号線対策王子五丁目団地連絡協議会は八月二十九日の結成当日に決めた運動方針にもとづいてさっそく具体的な行動にとりくんでいます。

九月十一日には木元代表幹事（自治会会長）、井上事務局長（自治会住宅環境部長）、豊岡幹事、山本自治会事務局長の四氏が、帝都高速度交通営団を訪れ、七号線建設に関する協議会の要望書を建設本部設計部長の増田氏に手渡し住民の意向を合せて伝えました。これに対し、増田氏は「みなさんのご要望は良くわかりました。営団としても良く検討します」と回答。協議会は続く十月八日、住・都整備公団東京支社を訪問、管財課の松田課長に、団地内に駅を誘置するについての公団側の考えを聞き、基本的に賛同を得ました。さらに十月二十五日営団との二回目の話し合いをもち、協議会の要望書に、より前向きな回答を得ることができました。

協議会は引き続き団地住民の意見を反映させて地下鉄問題にとりくむ予定です。

のびのび育つ地域づくり

青少年王子地区委が懇談会

当団地など王子出張所管内の地域で青少年育成活動をすすめている北区青少年王子地区委員会は十一月十一日の日曜日午後、王子第一小学校で「地域関係機関懇談会」を開催。学校と地域のかかわり、世代間交流をどうすすめるか、町会・自治会内の近隣相互の問題など六分科会にわかれて熱心に話し合いました。

地域の子どもたちが健全にのびのびと育つ〝ふるさと王子〟をつくっていく活動をいっそう盛り上げていくために、大人＝親がマイホームの壁をつき破って手をとり合い、努力し合うこと、また、家庭・学校・地域の三者が密接な交流、連携をつよめることの大切さが強調されました。

席上、「豊かな心を育てるモデル地区」運動をすすめている桜田中学校を中心とする桜田地区活動推進協議会の活動のすすめ方について公団王子五丁目団地自治会の出席者から、青少協王子地区委や団地自治会の活動を無視した実践報告書が作られるなど、いくつかの重要な点で疑問があるとの問題提起が行われました。

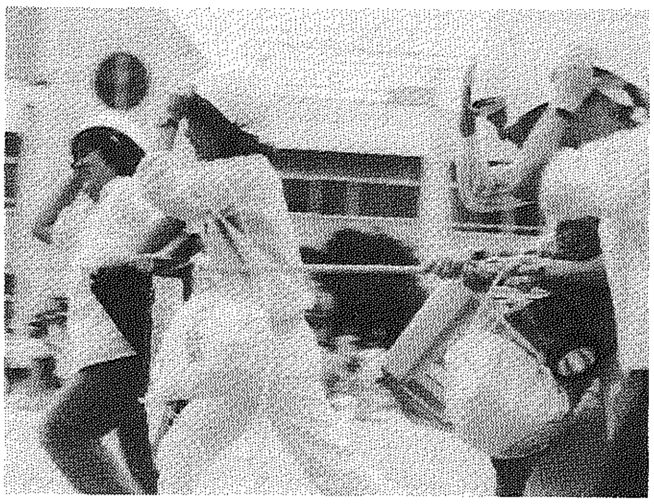
協力し合い活発な自治会活動を

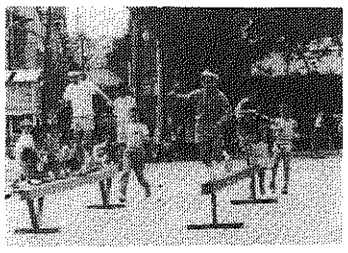
北ブロック会議で確認

十一月六日赤羽台団地集会所で北ブロック会議（公団北営業所管内の23区自治協加盟団地自治会で構成）が開かれました。王子五丁目団地自治会からは木元会長、勝文副会長、山本事務局長、井上住宅環境部長（同氏は23区自治協幹事として出席）の四氏が出席し、自治会活動の現状報告や家賃運動のとり組みなどについて発言しました。会議ではそれぞれの自治会の現状がのべられたあと、活発な意見交換がおこなわれ、特に家賃運動については個々の自治会の条件の違いはあるものの一致できる問題についてはお互い協力し、全力で運動を進めていくことが重要と確認し合いました。引き続いての懇親会でも具体的な問題点などに話はつきませんでした。

第四回団地ファミリー運動会　一五〇〇人が参加

白組逆転で総合三連覇達成





写真上から防災訓練・ケツ圧ゲーム・障害物競走

第四回団地ファミリー運動会は十月七日、桜田小学校で行なわれ、約千五百人の自治会員のみなさんが参加、〝団地村の村民運動会〟の楽しい一日を過ごしました。なお総合で白組が優勝し見事V3を達成しました。

今年も天候にめぐまれ、参加者の出足も好調、開会式から順調にプログラムが消化され、ファミリー運動会の定着ぶりを思わせました。また昼休みには家に帰らず会場でお弁当を広げる姿が多く見られたのもたいへん素晴らしいことでした。

白組V3の快挙

組別対抗競技では前評判どおり（？）最終種目の組別対抗リレーで見事な勝利を収め白組に劇的な逆転優勝をもたらしました。白組はこれで三連覇の快挙です。他の組のみなさん、来年こそガンバリましょうね。

白組二一〇点・赤組二〇〇点・青組一八〇点・桃組一七〇点。

ロングレース男子（千米）一位山本さん（六号棟）四分十一秒五一、女子（六百米）塙さん（六号棟）二分二十四秒五四、組別対抗リレー、①白組五分〇七秒五七・②青組五分七秒七四③赤組五分十二秒五四・④桃組五分十六秒二三。

みなさん、記録更新目ざしてトレーニング開始！

第七回敬老会

「敬老の日」の九月十五日集会所に於いて自治会・福祉厚生部主催による第七回「敬老会」が開かれました。

当日は自治会員世帯の六十五歳以上のみなさん三十人がおいで下さり、石渡広報部長の司会で始まりました。主催者を代表して鎌田副会長がお祝いをのべたあと、乾杯、余興に入りました。食事をとりながらきく錦しよう琴の音色にはアンコールが出るほどの素晴らしさでした。「なぞかけ福引きゲーム」では言葉のかけあいの軽妙さもあって会場の雰囲気も一そう明るいものになりました。最後に今年「喜寿」をむかえられた上田フジさんにお祝いの座布団が送られました。

渡辺さん初優勝

第十四回麻雀大会

第十四回麻雀大会は十一月十八日団地集会所で行なわれました。当日は特別参加として赤羽台団地自治会から下遠さんと高木さんの両氏も加わり総勢二十八名の雀士により競われました。初参加が多かった今回、優勝もやはり初参加の渡辺さん（二号棟）で並いる強豪をうちやぶっての立派なものでした。また二位に三村さん、三位に大関さんがそれぞれ入賞。表彰式で前回優勝の岡部さん（今回はブービー）よりトロフィーが渡されました。続く懇親会にも多数が参加しなごやかに懇談しました。

赤い羽根共同募金の御礼

先程行なわれた赤い羽根共同募金に、二万四千円のご協力をいただきありがとうございました。募金は早速王子出張所を通して実施機関に届けられました。心より感謝致します。

自治会の動き

【8月】
26日～28日　会報編集
28日　北区自治会連総会
〃　23区自治協第1回事務局担当者会議
29日　地下鉄7号線対策連絡協議会（仮称）準備会・結成
31日　会報45号出張校正

【9月】
1日　防災訓練
2日　23区自治協広報担当者会議（於・王子五丁目団地）
4日～5日　会報45号出張校正
6日　会報45号全戸配布
9日　第三回役員会、団地まつり子供実行委員会ごくろうさん会
11日　だんちファミリー運動会第1回実行委員会
〃　青少年運営委員会、推進委員会
〃　地下鉄7号線対策連絡協議会・帝都高速度交通営団へ要請、自治会・公団東京北営業所訪問
14日　23区自治協北ブロック会議
15日　第7回敬老会
〃　青少協王子地区委・球技大会
16日　花畑団地20周年記念祝賀会表敬
18日　だんちファミリー運動会第2回実行委員会
〃　23区自治協幹事会
19日　青少年委員会
〃　地下鉄問題団地商店会会議
21日　事務局会議
22日　運動会速報づくり、青少年会議
23日　入会促進デー、放置自転車対策、住宅環境部会
〃　全国自治協幹事会
24日　23区自治協親子つり大会
28日　だんちファミリー運動会第3回実行委員会
〃　自治協北ブロック北営業所交渉
〃　「豊かな心桜田協議会」発表会
29日　日赤献血協力
30日　運動会準備、桜田小学校運動会表敬

【10月】
7日　第4回だんちファミリー運動会
3日　23区自治協幹事会
4日　桜田保育園運動会
7日　第4回だんちファミリー運動会
8日　公団東京支社訪問（地下鉄問題要請）
11日　23区自治協幹事会
12日　桜田北保育園運動会、青少協運動会プロジェクト会議
14日　入会促進デー
15日　連合町会定例会
17日　東十条東児童館運営委員会
18日　全国自治協・国会要請行動
〃　第5回運営委員会、青少協運動会プロジェクト会議
19日　23区自治協団地代表者会議
21日　青少協スポーツフェスティバル
22日　地下鉄7号線対策連絡協議会
24日　福祉厚生部会
25日　帝都高速度交通営団本社要請（連絡協議会）
〃　住宅管理協会との懇談会
27日　広報部会、事務局会議
29日　第4回役員会（臨時）
30日　灯油交渉

【11月】
1日　青少協推進委員会
2日　防災センター落成式出席
6日　青少協推進委員会
〃　桜田中学校学芸会表敬
〃　23区自治協北ブロック会議
8日　防災支部長会議、全国消費者大会
9日　ファミリー自転車教室打ち合わせ会
11日　家賃問題学習会
〃　青少協地域関係機関懇談会
14日　清掃施設見学会